

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-	
		スーパー（企画担当）	・客データの分析を元にした販売計画の浸透によって、売上増が見込める。	
		スーパー（販売企画）	・前年の競合店出店の影響が、6月には一巡することから、客数が前年比で回復するとみられる。	
		コンビニ（経営者）	・暑くなってくるので、飲料関係や総菜関係、特に冷やし麺の売れ筋商品を増やして売上増加につなげる。	
		衣料品専門店（経営者）	・悪くなる様子はないとみている。	
		家電量販店（総務担当）	・気温の上昇など、夏らしい天候が続くとこの予報がある。	
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・観光関連の伸びから、全体的な景気は良いと言えるが、労働集約型の事業は深刻な求人難と人件費の異常な上昇、雇用環境の引締めで労働環境の整備に追われ、売上を伸ばせない等、機会損失を起こしており、厳しい状況にある。	
		通信会社（店長）	・6～7月で新商品の発売があるので販売量が期待でき、また、毎月の料金も安く抑えられるプランが出るためキャリアからの乗換えも増えると予想している。	
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・入域観光客の増加が見込まれており、当社の先行予約状況も前年を上回っている状況である。	
		百貨店（店舗企画）	・化粧品を中心とした好調な動きは変わらないとみている。	
		衣料品専門店（経営者）	・年代でばらつきがあるような業界であるが、景気はまだまだ良くなる気配がみえない。全体的には商品が安くなるのを待っている客が多いように見受けられる。業界全体としては様子見だとみられる。	
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階における予約状況から推測できる2～3か月後の稼働率は当月と同様に前年並みである。	
		旅行代理店（マネージャー）	・夏休みの問合せはあるが、旅行素材全てが高くなる時期なので、どこまで予約成立するかが不透明である。	
	企業 動向 関連 (沖縄)		-	-
			窯業・土石製品製造業（経営者）	・公共工事、民間ホテル建設が2～3か月先まで良い見通しである。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島のホテル等のリゾート関連の民間工事が増大しており、加えて宮古島市での陸上自衛隊関連の建設工事も始まったため、生コンの出荷量が増えている。アスファルトの出荷は依然低迷しているが、5月からは出荷が見込める。	
		輸送業（営業）	・既存に加え新規荷主の増もあり、物流全般の取扱物量はこれまでの既存センターでさばき切れないほどの物量があり、増えている。また、受託料金についても人件費や燃料費高騰に理解ある荷主が増え景気は良くなっている感がある。ただし、引き続きの人材不足や労基の問題で一層の人件費増は見込まれるので、楽観視はできない。	
		広告代理店（営業担当）	・県内景気は好調に推移していくものと思われる。しかし、観光業界を中心に打撃を受けているはしかの流行が、思わぬブレーキとなる可能性があり、現時点では県内企業の販促活動にどの程度影響を及ぼすのかは不明瞭である。	
		会計事務所（所長）	・人材不足感が強く、チャンスロスになっている感がある。	
		-	-	
		x	-	-
雇用 関連			-	-
			-	-
			-	-

(沖縄)	人材派遣会社（総務担当）	・求人数は多いが求職者が増えず、景気は良いが人手不足から対応できない企業がある。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・前年よりも求人数は増加している。2～3か月後は新卒採用が終了するが、同時並行で中途採用も出てくる。
	学校 [専門学校]（就職担当）	・慢性的になりつつある人材不足の懸案を解消する策を期待したい。
	学校 [大学]（就職担当）	・新卒求人に対する企業側の採用活動は活発になっており、雇用形態や待遇面も更に向上しているように感じるが、一層の景気の上昇とまでは思えない。
		*
x	-	-